

生産動態

本県の生産動態統計調査の概況

昭和28年6月度

織 維 部 門

(調査課商工調査係)

本表は生産動態統計調査規則に定められている繊維工場を調査対象としたものであるが、特紡糸和紡糸以外の紡績工場、および抽出調査工場は含まれていない。

(1) 工場、勞務者及び設備運転状況

部門別	業種別	工場数			在籍従業者			設備						
		全工場	操業	操業度	男	女	計	機種	単位	運転可能	運転不能	賃動	稼働率	
	総計	419	375	89	531	1,876	2,407							
紡績	特紡糸、和紡糸							計	錘	34,988	14,272			
								リソグ	〃	2,220	—			
								和紡機	〃	32,768	14,272			
織物	計	368	336	91	288	988	1,276	織機計	合	1,765	68	949	54	
	綿織物	34	31	91	82	323	405	廣巾織機	〃	48	3	13	27	
								並巾織機	〃	723	24	479	66	
								小巾織機	〃	343	25	111	32	
								手織足踏機	〃	651	16	346	53	
製品	メリヤス製							ミシン計	合	34	27	21	62	
								編機	〃	258	126	91	35	
								横編手袋以外	〃	103	5	54	52	
								丸編生地	〃	67	18	30	45	
製品	雑織雑品製							撚糸機	錘	1,945	—	195	10	
								製網機計	合	283	—	18	6	
								手動製網機	〃	268	—	14	5	
								動力製網機	〃	15	—	4	27	
製品	縫製品							電気裁断機	合	21	7	14	67	
								ミシン計	〃	782	260	312	40	
								動力ミシン	〃	533	230	294	55	
								足踏ミシン	〃	249	30	18	7	
その他	製綿及び衛生材料	3	3	100	66	14	80	梳廻綿切機	台	14	—	5	36	
									〃	29	—	14	46	

(2) 生産状況

部門別	品目別	單位	生産高			引渡高			月度末在庫高		
			当月度	前月100対比	前年同月100対比	当月度	前月100対比	前年同月100対比	当月度	前月100対比	前年同月100対比
紡績	計	封度	69,046	128	218	70,509	133	184	5,914	80	46
	落特和	〃	42,602	104	238	43,700	110	211	1,312	54	75
	糸系糸	〃	26,444	201	193	26,809	200	155	4,602	93	32

(2) 生産状況(続)

部門別	品目別	單位	生産高			引渡高			月度末在庫高			
			当月度	前月100対比	前年同月100対比	当月度	前月100対比	前年同月100対比	当月度	前月100対比	前年同月100対比	
織物	織物計	平方碼	293,036	91	107	276,721	86	103	129,665	115	94	
	綿織物	〃	153,336	82	133	140,195	76	117	88,931	121	124	
	絹織物	〃	29,789	81	131	26,502	71	133	7,913	167	147	
	絹紡織物	〃	5,653	79	77	4,244	59	56	2,655	213	199	
	和紡織物	〃	83,581	110	73	90,124	112	104	24,167	79	46	
	スフ織物	〃	8,830	318	—	7,940	273	—	993	964	2,483	
	合成纖維織物	〃	9,847	94	506	7,716	60	402	5,006	174	164	
	麻織物	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
製品	メリヤス生地	封度	1,302	185	21	1,989	248	43	2,639	79	54	
	製品計	打	12,034	131	153	11,295	117	154	5,845	114	179	
	肌着	〃	1,140	143	62	965	100	53	532	149	337	
	外衣	〃	—	—	—	—	—	—	59	100	18	
	手袋	〃	8,374	145	227	8,521	135	119	3,047	95	214	
	靴下	〃	2,520	95	111	1,809	76	81	2,207	148	163	
	雑織維製品	計	封度	3,565	96	69	4,293	78	60	6,210	107	50
	漁網	〃	2,565	73	61	3,273	62	55	4,680	110	57	
	漁具糸	〃	1,000	500	100	1,020	309	89	1,530	99	36	
	縫製品	学校服	着	3,897	465	335	3,914	960	313	1,332	99	108
		作業服	〃	1,084	35	39	980	34	32	853	112	1,398
		制服	〃	4,285	122	76	2,335	66	88	1,955	39,100	65
		乳児及子供服	〃	1,772	75	103	1,702	85	100	730	111	261
		既成服	〃	1,917	58	75	1,979	59	77	745	92	102
		中衣	点	25,024	135	137	28,276	142	179	7,754	70	139
その他	計	封度	49,022	71	217	47,158	67	140	10,528	122	114	
	中入綿	〃	12,330	89	108	9,537	67	688	5,583	200	688	
	蒲団綿	〃	36,692	66	173	37,621	67	206	4,945	84	59	

註 縫製品中、学校服、作業服、制服、乳児及子供服、既成服において上衣または下衣だけのものは2点をもつて1着に換算した。

(3) 生産の分析

業種別	單位	1工場當り生産高		1勞務者當り生産高		業種別	單位	1工場當り生産高		1勞務者當り生産高	
		当月	前年同月	当月	前年同月			当月	前年同月	当月	前年同月
和紡織工場	封度	2,672	3,956	352	212	雑織維製品工場	封度	713	1,040	96	149
綿織物工場	平方碼	8,309	6,895	636	544	服類	着	1,080	1,069	20	23
絹織物工場	〃	114	158	41	61	縫製品工場	点	2,378	1,601	22	35
メリヤス製品工場	打	1,203	715	80	66	その他製綿工場	封度	16,341	7,533	613	1,130

昭和28年6月度分

雜 貨 部 門

玩具、革靴、陶磁器は5人以上の事業所 漆器、金屬洋食器、赤煉瓦は全事業所
対 象 工 場 数

業 種	玩 具	革 靴	漆 器	金屬洋食品	陶 磁 器	赤 煉 瓦
對 象 業 止	3	4	13	1	25	5
操 休	3	4	5	1	18	1
	—	—	8	—	7	4

生産及び出荷状況 (前月対比は前月を100とする)

業 種	區 分 製 品 名	單 位	生 産 數 量			出 荷 數 量					
			數 量	前月 対比	金 額 円	國 内		輸 出		金 額 円	
						數 量	前月 対比	金 額 円	數 量		前月 対比
玩 具	金 屬 製 玩 具	個	69,984	97	911,172	1,272	88	148,020	68,712	—	763,152
	プ ラ ス チ ャ ッ ク 製 玩 具	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	セ ル ロ イ ド 製 玩 具	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
革 靴	男 子 総 革 製 靴	〃	86	104	—	84	84	190,000	—	—	—
	婦 人 総 革 製 靴	〃	103	93	—	100	85	175,000	—	—	—
	サ ン ダ ル	〃	25	—	—	15	—	24,000	—	—	—
漆 (木製) 器	容 器 類	〃	610	92	768,000	610	92	76,800	—	—	—
	食 卓 子 膳 盆 類	〃	340	56	85,000	340	56	85,000	—	—	—
	食 器	〃	150	60	6,000	150	60	6,000	—	—	—
金 洋 屬 器	ス プ ナ	打	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	プ ー ン ク	〃	x	—	x	x	—	x	x	—	x
陶 磁 器	電 氣 用 品	觔	29,856	157	9,401,016	29,856	157	9,401,016	—	—	—
	特 別 高 壓 碍 子	〃	962	—	1,436,338	962	—	1,436,338	—	—	—
	高 壓 用 碍 子 他	〃	2,975	74	2,154,980	2,975	74	2,154,980	—	—	—
器	厨 房 用 品 (その他)	〃	103,265	52	—	134,013	74	1,535,925	—	—	—
	衛 生 用 品 (その他)	〃	24,000	120	270,000	24,000	119	270,000	—	—	—
赤 煉 瓦	觔	x	—	x	x	—	x	—	—	—	

昭和28年6月度分

機 械 鑄 物 部 門

製 品 名	生 産		出 荷		自 己 消 費	月 末 在 庫
	重 量 kg	金 額 (千 円)	重 量 kg	金 額 (千 円)	重 量 kg	重 量 kg
鉄 鑄 物	146,998	8,067	104,209	6,353	40,964	26,291
01 産 業 機 械 器 具 用	71,091	4,425	69,344	4,259	7,972	11,806
02 織 維 機 械 器 具 用	—	—	—	—	—	—
03 鉄 道 及 車 輛 用	9,256	584	9,256	584	—	—
04 電 氣 及 通 信 機 器 用	16,000	912	16,000	912	—	—
05 農 水 産 機 器 用	377	38	377	38	—	45
06 港 灣 及 船 舶 機 器 用	—	—	—	—	—	—
07 雑 機 械 器 具 用	4,809	312	4,809	312	—	—
08 日 用 品	10,116	630	4,423	248	2,193	9,890
09 鑄 型 及 鑄 型 定 盤	35,349	1,166	—	—	30,799	4,550
10 口	—	—	—	—	—	—
11 其 他	—	—	—	—	—	—

製 品 名	工 場 数		月間生産高	月間出荷高	月末在庫高	資材名	消 費kg	月末在庫kg
	対 象	操 業	前月100対比	前月100対比	前月100対比		銑 鉄	
銑 鉄 鑄 物	11	11	118	100	107	故 銑 鋼 屑	61,527 115,342 1,810	91,344 54,663 140

索引 番号	調査項目 製品名 用途別	生 産				其 の 他	
		青 銅 鑄 物		黄 銅 鑄 物		重 量 kg	金 額 (千円)
		重 量 kg	金 額 (千円)	重 量 kg	金 額 (千円)		
	銅 合 金 鑄 物	17,227	6,353	3,926	1,235	215	64
01	産業機械器具用	1,523	598	330	99	215	64
02	電気及通信機器用	5,623	2,080	—	—	—	—
03	鉄道及車輛用	3,102	1,307	300	90	—	—
04	港湾及船舶機器用	—	—	—	—	—	—
05	軸受メタル	2,246	768	125	37	—	—
06	管 継 手	490	147	—	—	—	—
07	バルブコック	3,799	1,253	2,852	913	—	—
08	建 築 用	—	—	—	—	—	—
09	日 用	—	—	9	3	—	—
10	其 の 他	444	200	310	93	—	—

製 品 名	工 場 数		月 間 生 産 高		
	対 象	操 業	重 量 kg	前 月 100対比	金 額 (千円)
銅 合 金 鑄 物	7	7	21,368	98	7,652

※ 本表の工場数は次の定義に基いたものである。銑鉄鑄物については従業員10名以上、銅合金鑄物については従業員5名以上を有する工場が調査対象となっている。

時 評

地方統計制度の問題

地方統計制度の問題について、最近ようやく活潑に論議されるようになった、多くの矛盾を包藏したまま今まで持ち越していた問題がようやく表面化して解決を急がれる段階に入ったのである。

終戦当時の地方廳における統計機構は、統計専管課の残存していたのは、わずかに14県に過ぎず、他はすべて他課でその事務を見ているという程度の貧弱なものとなっていた。そしてその事務も、内務報告令による調査、農林水産業調査規則による調査及び商工統計調査規則による調査等で、これに対しては半額又は3分の1の人員費の國庫補助の制度が設けられていた。

戦後、総理府統計局をはじめ、各省の重要統計事務が逐次都道府県知事に委任して実施されるに従つて、各都道府県に統計を専管する課が復活しこれが次第に拡充強化されて半額國庫負担の補助

職員の数を増加するとともに、市町村にも統計主任制度が復活して、地方統計組織は著しく整備されるにいたつた。そこで昭和22年の9月には全額國庫負担の地方職員制度が実施され、都道府県と市町村の全部に國費による統計職員が配置されて都道府縣市町村を通ずる國の統計機構は著しく拡充を見たのである。

しかるにこの時期を頂点として、それまで國の統計事務が都道府県の統計主管課を通じて、一元的に行われていた方針の一角がくずれて、別のルートで実施されるものが次第に増加するとともに数次の行政整理によつてその定数も削減される傾向を辿るようになった。その手始めは連合國軍總司令部天然資源局の「作物報告四原則」に基いて設けられていたいわゆる作報組織に作況調査が移されたことであり、次いで連合國軍總司令部公衆衛